

## 高大連携

### 協定校は12校に

#### 神奈川県立港北高校、麻生高校と協定を締結

高等学校との相互理解や地域貢献を目的に2003年から行われている高大連携。現在までに生田キャンパス近隣の10高校と協定を締結し、教育交流活動を進めているが、新たに神奈川県立港北高校(伊藤青春校長)、同麻生高校(塚野ミイ子校長)との協定が決定し2月3日、生田キャンパスで締結式が行われた。

高橋祐吉副学長と両校の校長の間で協定書が交わされ、本学から記念品として源氏物語「空蝉」(図書館所蔵)を複製した巻物が贈られた。



▲港北高校と

#### 連携協議会を開催－小峰助教授がワークショップ

同日、全協定校の校長、教諭らと、本学の高大連携連絡協議会委員ら約50人が出席して、高大連携協議会が開かれた＝写真。

高大連携連絡協議会の鈴木直次座長(経済学部教授)が聴講生の受け入れや教科研修生の派遣、一日体験入学など、06年度の活動を紹介し、県立川崎高校の岩村基紀校長、都立狛江高校の松本隆校長が、それぞれのキャリア教育の実情を報告した。

小峰直史商学部助教授がワークショップ「キャリアガイダンスの創(つくり)かた」を行い、体を動かしながら、キャリア教育の推進に必要なコミュニケーション能力、自己開示力を養うための方法を講義した。



▲麻生高校と



小峰直史助教授



## 高大連携

### 高大連携聴講生に修了証書

#### 学びの“動機づけ”に

「平成18年度高大連携聴講生修了式」が1月13日、生田キャンパスで行われ、高大連携の一環として大学の講義を受講した高校生8人(うち1人は欠席)に修了証書が手渡された。

高大連携連絡協議会座長の鈴木直次経済学部教授ら約30人が出席。聴講生や受講に協力した学生サポーターが感想を述べ、講義を担当した「現代日本語の研究」の備前徹文学部教授、「アルゴリズム的思考法」の佐藤創ネットワーク情報学部教授が受講の様子などを講評した。

